

JA伊勢 バケツ稲



JA職員⑤の指導の下、バケツ稲作りを体験する児童

【伊勢】伊勢市立草
修小学校と同市立厚生

5月22、26の両日、総
小学校の5年生57人は

合的な学習の時間の一環で、「バケツ稲づくり」を行った。JA伊勢営農部指導・販売課が指導した。

「バケツ稲づくり」は、児童らが実際に稲作を体験することで、農業への関心を育むことを目的に実施。

同課の職員が土づくり、苗の定植、定植後の栽培管理について指導し、児童らは楽しみながら作業に取り組んだ。

同JAの担当者は「今回の体験で児童には米作りの楽しさと大変さを経験し、食の大切さを学んでほしい」と話した。

今後は、児童らが責任を持って管理を行い、収穫した米は家庭科の授業で炊いて食べる予定だ。